

2024年12月5日

Press Release

弘前れんが倉庫美術館（青森県弘前市）
展覧会「タグチアートコレクション×弘前れんが倉庫美術館
どうやってこの世界に生まれてきたの？」関連プログラム

アーティスト 高山明氏による講義

2024年12月15日（日）14：00－15：30 弘前大学（文京キャンパス）

2024年12月16日（月）13：40－14：25 弘前大学教育学部附属小学校

弘前れんが倉庫美術館は、2024年9月27日（金）から2025年3月9日（日）まで展覧会「タグチアートコレクション×弘前れんが倉庫美術館 どうやってこの世界に生まれてきたの？」を開催しています。本展出品作品の一つ、弘前市内マクドナルド4店舗で体験できる作品《マクドナルドラジオ大学》を制作したアーティストの高山明氏が、弘前大学での「現代美術演習」および、弘前大学教育学部附属小学校5年生の授業で特別講義を行います。

高山明による弘前大学での講義（公開講座）

高山明/Port Bによる《マクドナルドラジオ大学》は、街中のマクドナルドを学びの場である「大学」に変えるアートプロジェクトです。本講義では、《マクドナルドラジオ大学》の制作の背景にある移民や難民との出会いや、今回の弘前での制作過程、さらには現実の都市や社会の中で演劇的発想でインスタレーションやツアー型のパフォーマンス、社会実験プロジェクトなどを行ってきた活動について取り上げます。

日時 | 2024年12月15日（日）14：00－15：30（受付開始13：30）

会場 | 弘前大学 教育学部棟2階・203教室（青森県弘前市文京町1）

料金 | 無料

定員 | 一般参加 60名 ※その他「現代美術演習」受講生は約10名

申込み | 事前予約優先 WEB（Peatix）<https://20241215lecture.peatix.com/>

または電話 0172-32-8950

WEB | <https://www.hirosaki-moca.jp/events/9526/>



高山明による小学校での授業（一般非公開）

弘前大学教育学部附属小学校5年生（3クラス・計84名）を対象に、高山氏が《マクドナルドラジオ大学》の内容や制作背景、アーティストとしてどのような活動をしているのかについてお話しします。

日程 | 2024年12月16日（月）13：40－14：25

会場 | 弘前大学教育学部附属小学校 第3多目的室（青森県弘前市学園町1-1）

※対象の児童は、事前学習として12月12日（木）に当館を訪問予定（作家の参加はありません）

12月15日・16日は、高山明氏へのインタビューが可能です。

ご希望の方は広報担当までご連絡ください。

高山明（たかやま あきら）

1969年さいたま市生まれ。演出家・アーティスト。Port B（ポルト・ビー）主宰。東京藝術大学大学院映像研究科教授。活動は多岐に渡るが、いずれの活動においても「演劇とは何か」という問いが根底にあり、演劇の可能性を拡張し、社会に接続する方法を追求している。著書に『テアトロンー 社会と演劇をつなぐもの』（河出書房新社、2021）など。



©Bea Borgers

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail：press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1

《マクドナルドラジオ大学》について

《マクドナルドラジオ大学》は、アーティストの高山明による、マクドナルドを「大学」に変えるアートプロジェクトです。「教授」はなんらかの理由で故国を離れることになった移民や難民で、「学生」となる観客は、マクドナルドに入店し、ハンバーガーやドリンクとともに講義を聴講することができます。

本プロジェクトは、2017年のドイツ・フランクフルトで始まりました。2014年の暮れ頃から、ヨーロッパには、戦争や紛争から逃れるために祖国を離れて移動してきた難民たちが街に溢れていました。高山はその光景を目の当たりにして、アートや演劇を通じて、多様な文化を背景に持つ人たちが共生できる道を探ろうとしたのです。難民の人たちに話を聞いてみると、避難の途中で多くの人がマクドナルドに立ち寄っていることが分かってきました。そこで、難民の方々にとってのセーフティネットであるマクドナルドを舞台に、それぞれの町に暮らす移民や難民が「教授」となり、講義をつくり、自らの経験から得た知恵や知識を届けるアートプロジェクトとしてスタートしました。

現在、シリア、アフガニスタン、ガーナ、エリトリア、イランなど、様々な国からやってきた「教授」による講義は40を数え、その内容は建築・哲学・文学・生物学・ジャーナリズム・スポーツ科学などバラエティに富んでいます。

弘前で制作された3つの新作

展覧会「どうやってこの世界に生まれてきたの？」への展示に際し、以下3つの新しい講義を制作しました。

① Candice Johnson さん（ジャマイカ出身、英語教師）「言語学」
ジャマイカ出身で、家族で弘前に移り住み、現在弘前市内の高校で英語の先生をしている方が講師。同じくジャマイカ出身の夫と家庭内で話す時に使っている「パトワ語」についての講義。パトワ語とはジャマイカで話されているクレオール語で、かつてアフリカから連れてこられた奴隷が話すアフリカの言語と、当時植民地支配をしていたイギリス人が話す英語がミックスされて生まれた言語です。

② 蒔田大就さん（平川市出身、金剛寺の副住職）「宗教民俗学」

蒔田さんの祖父が開いた金剛寺の歴史と、津軽の厳しい自然環境が人々の祈りにどのように影響を与えたか、日々の実践から得た考察についての講義。津軽地方の民間信仰が地域社会において果たしてきた役割を、宗教民俗学の視点から解説。

③ Hossini さん（アフガニスタン出身、留学生、マクドナルドクルー）「経営情報学」

戦時下での生い立ちと、学問への強い欲求から日本の大学で経営情報システムを学ぶに至った半生についての講義。また、日本の生活に戸惑いを覚えた経験から、留学生が日本で生活に適応するためのウェブサイトの開発を目指しており、いかにそうした情報システムが日本にいる外国人の役に立つか、という内容も含まれます。

作品が体験できるマクドナルド店舗

弘前大町店、102 弘前店、弘前さくら野店、弘前堅田店

※マクドナルド店内に設置されたQRコードからウェブサイトへアクセスし、音声を聴くことで体験する作品です



高山明 / Port B 《マクドナルドラジオ大学》フランクフルト
2017年 タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金蔵
Photo: Masahiro Hasunuma



左から：「教授」として作品に協力いただいた蒔田大就氏、Hossini 氏、アーティストの高山明氏。
2024年9月27日、マクドナルド弘前大町店にて。

返信先：弘前れんが倉庫美術館 広報担当宛て

E-MAIL : press@hirosaki-moca.jp / FAX : 0172-55-5982

「どうやってこの世界に生まれてきたの？」関連プログラム

高山明氏による講義

取材申込書

当日ご取材いただける場合には、以下ご記入の上、12月14日（土）までに
メールまたはFAXでお知らせください

■ご取材希望の内容（✓印をお付けください）

12月15日（日）14：00－15：30 大学での講義（弘前大学・文京町キャンパス）

12月16日（月）13：40－14：25 小学校での授業（弘前大学教育学部附属小学校）

■媒体名 編集プロダクション、フリーライターの方は担当されている媒体名を記載してください。	
■媒体ジャンル（✓印をお付けください） <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> 紙媒体 <input type="checkbox"/> WEB <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> その他（ ）	
■社名	
■住所	
■参加者名	■掲載・放送予定日 年 月 日
■E-MAIL	
■TEL	■FAX
■撮影（✓印をお付けください） <input type="checkbox"/> スチール <input type="checkbox"/> 動画	
■インタビュー（✓印をお付けください） <input type="checkbox"/> 高山明氏への個別インタビューを希望します	
ご質問、ご要望がございましたら下記へご記入をお願いします。後日、担当よりご連絡します。	

*お送りいただいた個人情報は、当館広報活動以外の目的で使用することはありません

| 本資料に関するお問い合わせ |

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川

〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1 TEL: 0172-32-8950 FAX: 0172-55-5982 E-MAIL: press@hirosaki-moca.jp